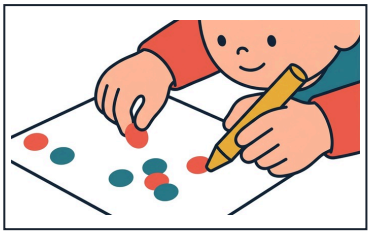
CASE 06｜手先の器用さ・食具・運筆

手先が不器用で、スプーン・箸・鉛筆・工作を嫌がってしまう

いきなり鉛筆や箸を特訓せず、パスタ入れやシール貼り等の「夢中になれる指先遊び」から育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- スプーンやクレヨンをグー握りしてしまい、食べこぼしや筆圧の偏りがある
- シール剥がし・おりがみ・袋開けが難しく、すぐ「やって！」と怒る
- ぬり絵やハサミなどの制作活動を嫌がり、手先を使う遊びを避ける

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
指先の器用さは「手首の安定」と「力加減の感覚」から育ちます

目と手の協応や力加減の感覚(固有受容覚)が未分化なまま細かい作業を強いられると苦手意識が残ります。遊びの中で楽しく親指・人差し指・中指(3指)を使うと自然に器用になります。

お子さまの手先の様子に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:失敗が嫌で最初から「やって！」と頼る時
最初の8割はスタッフが手を添えて一緒に動かし、最後の『ポンと貼る・袋を引く2割』をお子さまに任せて「できた！」自信を守ります。

■ B:力加減が難しく紙が破れたり外れる時
粘土・スライムをちぎる感触遊びや、ボトルにパスタを落とす遊びから始め、手首の固定と3指でつまむピンチ力を楽しく養います。

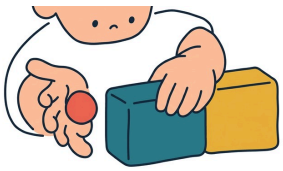
▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



手首と3指の未分化
指を1本ずつ独立して動かす感覚が育っておらず、細かい操作が負担です。

02 感触遊び



粘土ちぎりとブロック
粘土・スライムやブロック連結で、手のひらのアーチと力加減を育てます。

03 3指あそび

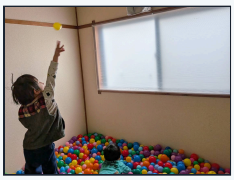


パスタ入れ・シール
ボトルへのパスタ入れ・シール貼り・おりがみで親指・人差し指・中指を鍛えます。

04 育つ姿



食具・袋開け・運筆へ
おやつ袋開け・タオルたたみ・スプーンや箸・鉛筆持ちが自信をもってできます。



実践① パスタ入れ・シール・おりがみ
夢中になれる遊びで「目と手の協応」
電車の台紙へのシール貼りや、細いパスタをボトルの口に入れるゲームを通じ、箸使いや鉛筆持ち(運筆)に直結する指先操作力を育てます。



実践② おやつ袋開け＆タオルたたみ
生活場面で「両手を協調させる力」へ
おやつ時に自分で袋を開ける挑戦や、角を合わせてタオルをたたむお手伝いを取り入れ、日常の中で「自分でできた！」達成感を積みます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

お菓子の袋を開ける時、全部開けて渡すのではなく『2ミリだけ小さな切れ目を入れて渡し、左右の指でつまんで引っ張らせる』と毎日楽しくつまむ力(ピンチ力)が育ちます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談